

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【公表番号】特表2011-522230(P2011-522230A)  
 【公表日】平成23年7月28日(2011.7.28)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-030  
 【出願番号】特願2011-510894(P2011-510894)  
 【国際特許分類】

G 0 1 N 35/04 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 35/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月5日(2011.7.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生体サンプルの医学診断分析を行うための分析器であって、

(a) 第 1 の円に沿って離間されるキュベットホルダの第 1 配列を有する第 1 のディスク型キュベットコンベヤ(12)と、

(b) 前記第 1 のキュベットコンベヤにより運ばれるキュベット(31)を第 1 の角度位置に位置付けるために、前記第 1 のキュベットコンベヤ(12)を、回転軸(43)の周りを回転させる第 1 の駆動手段(24)と

を含み、前記分析器はさらに、

(c) 第 2 の円に沿って離間されるキュベットホルダの第 2 配列を有する少なくとも第 2 のディスク型キュベットコンベヤ(11)を含み、

前記第 1 のキュベットコンベヤ(12)のキュベットホルダおよび前記少なくとも第 2 のキュベットコンベヤ(11)のキュベットホルダが、同様の形状および寸法をもつキュベット(31)を保持するように適合されており、

前記第 1 の円および第 2 の円の中心が、前記第 1 のキュベットコンベヤ(12)および前記少なくとも第 2 のキュベットコンベヤ(11)の共通の回転軸(43)である垂直軸上に位置しており、

前記第 1 のキュベットコンベヤ(12)および前記少なくとも第 2 のキュベットコンベヤ(11)が前記共通の回転軸(43)の周りを回転可能であって、

前記第 1 のキュベットコンベヤ(12)および前記少なくとも第 2 のキュベットコンベヤ(11)が、前記回転軸(43)に沿う軸方向において互いに離間されており、前記第 1 のキュベットコンベヤ(12)および前記少なくとも第 2 のキュベットコンベヤ 11 の間には空隙が存在し、

(d) 前記少なくとも第 2 のキュベットコンベヤ(11)により運ばれるキュベット(31)を第 2 の角度位置に位置付けるために、前記少なくとも第 2 のキュベットコンベヤ(11)を、前記垂直回転軸(43)の周りで回転させる少なくとも第 2 の駆動手段(25)であって、前記少なくとも第 2 の駆動手段(25)の作動が、前記第 1 の駆動手段(24)の作動から独立している駆動手段と

を含むことを特徴とする分析器。

【請求項 2】

中の気温が所定の値に調整および維持されるチャンバを画定するハウジング（１５）をさらに含み、前記第１のキューベットコンベヤ（１２）および前記少なくとも第２のキューベットコンベヤ（１１）が前記チャンバ内に位置づけられている請求項１記載の分析器。

【請求項３】

前記第１のキューベットコンベヤ（１２）および前記少なくとも第２のキューベットコンベヤ（１１）それぞれの外周に近接して位置づけられ、前記第１のキューベットコンベヤ（１２）のキューベットホルダの１つから、前記少なくとも第２のキューベットコンベヤ（１１）のキューベットホルダの１つへと、キューベット（３１）を移動させるように適合され、および／または逆の場合もまた同様に移動させる第１のキューベット移動装置（１４、WSF）をさらに含む請求項１記載の分析器。

【請求項４】

前記第１のキューベット移動装置（１４、WSF）がさらに、前記少なくとも第２のキューベットコンベヤ（１１）のキューベットホルダの１つからキューベット（３１）を取り除き、該キューベット（３１）をキューベット排出装置（１３）へと移送するように適合される請求項３記載の分析器。

【請求項５】

前記第１のキューベット移動装置（１４、WSF）がさらに、前記少なくとも第２のキューベットコンベヤ（１１）のキューベットホルダの１つから処理位置へと前記キューベット（３１）を移送し、前記処理位置から再び前記キューベットホルダへ、またはキューベット排出位置（１３）へと移送するように適合される請求項３記載の分析器。